



第 186 回 例 会 1963.2.19 (火) 小雪

例 会 場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
 事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

○出席報告

本日の出席数 $\frac{39}{48}$ 名
 出席率 81.25%

欠席者 阿部君、今間君、大野君、佐藤(仁)君、菅原君、伊藤君、津田君、渡辺君、長谷川君

前回の修正出席率 79.17%
 修正出席数 $\frac{44}{48}$ 名
 修正出席率 89.58%

メークアップ 安藤君 天童 R.C.
 大野君 村山 R.C.
 阿部君 酒田 R.C.
 金井(勝)君 東京北 R.C.
 広瀬君 東京西北 R.C.

○司 会 会 長

○ソング 我等の生業 リーダー 広瀬君

○ビジター 富樫重治郎君 (酒田 R.C.)
 高野重一郎君 (ク ク)
 佐藤 吉三君 (ク ク)
 荒井 清吉君 (ク ク)
 渡辺 竜郎君 (ク ク)

○国際ロータリーの記念を祝して 小花君

1905年シカゴにおいて、ポール・ハリス及びその友人3人で結ばれたのが、ロータリーの発端でその3人の集りをもって、平和な明るい、社会を作るその会合をもつたのが根原であります。それから、次々とクラブが誕生し、6年後にはヨーロッパまでも発展し、現在では128国のクラブと、530万人の会員で国際的組織にまでなつたのであります。日本では東京が始めてで855クラブを誕生し、現在では、526クラブと、2万3千人の会員になつてお

ります。

毎年一回は国際大会を開催し、我が国でも初めてのコンペイションを盛大に東京で行なわれた。来る23日がその国際記念日になっております。当クラブが出来てから4年も経過致しましたが、1年毎に記念事業を行なつて参りましたが、その行事として恵まれない人の援助、盲人のテン字文等、子供の交通安全数々の社会奉仕により世の人々にもつとロータリーの真価を理解してもらえらるうと思ひます今年度は、小中学生の新聞配達とくに今年度は豪雪の中を配達される小さな子供達に感謝の意を表わしたいと思ひます。此の機会に意義を深めるではないだらうかと思ひます。又当クラブの発会には、安齋先生の並々ならぬ御指導のもとに発会したもので、こゝに会員一同先生に深く感謝の意を表したいものです。(小花君)

○連絡事項

○来る23日の国際ロータリーの記念日を繰上げて一同乾杯。

○さる15日に次期副会長、各委員長、委員の役員を次期理事会で決定しその結果池内さんより報告願ひます。(役員左の通り)

副会長 斎藤(栄)君
 国際奉仕 吉村君
 社会奉仕 佐藤(仁)君
 職業奉仕 嶺岸君
 会 計 早坂君
 S A A 石井君

○会長、記念日に際し、過去をふりかえつて考えると計画を立てるといふ事は、意義ある事で、此の記念日に何かの行事を社会奉仕を通して（青少年問題）を記念事業としてやりたいと思いますので、委員会御計画をたてられたらよいと思います。

○MIGLIORINI さんより手紙が参り、特に今年は例年になく寒いとの事です。日本も寒波と、大雪に見舞われ、特に裏日本は非常に寒いと紙上で知られているようです。今後は鶴岡の青少年との間に交通を続けたい、特に男の子と希望されているようです

討論を活気づける

ある元地区ガバナーは何処のロータリー昼食会の戸口に立つても食事が始まつて5分後には彼はその会話のさだめきによつてそれが「よいクラブ」かどうかを言い当てることができると言っています。

「話をするクラブは常によいクラブである」と彼は述べています。

機敏なクラブ雑誌委員はロータリー昼食会で最近のロータリアン記事の討論を持ち出して活発な会話の口火を切る事ができます。

あなたのクラブでは毎週か、隔週或は毎月会員の家庭で炉辺討論会をもつた事がありますか。もしなければ、クラブは交友を深め考想を交換する機会を逸していることとなります。

何について話すべきか？計画なしで会合した場合は殆んど成功しないものです。ここでロータリアン誌が理想的な助けとなります。何故ならいくつかの記事は、毎月必ずくつろいだ会話の効果的な出発点にする事ができるからです。

例えば世界の問題があります。この分野については殆んど毎月号が少くとも一つは有益な権威のある記事を載せています。それは、国連の活動を1945年の創立以来広範囲に亘つて報告してきました。政府や実業界の指導者達は、各々その国に於ける経済の発展について発表しています。

自家製番組の建設

ロータリアン誌はクラブ内の人材による番組のための考想の金鉱です。

いくつかのクラブでは毎週雑誌委員会に一つの記事の復習を短時間（3-5分間）受け持たせている事を貴クラブのプログラム委員会に強調して下さい。他のクラブではその月のロータリアン記事についての質問を毎週或

は毎月実行しています。この案を実行されると集会有益な知識と楽しさを得て趣のあるものになるでしょう。

貴クラブのプログラム委員会は毎月クラブ、職業、社会及び国際のロータリー四奉仕の道の一つずつとりあげて一つの番組を計画するように努めます。ロータリアン誌は毎月これらの各主題について一つ或はそれ以上の記事を載せています。

月例討論にプログラム委員会の注意を向けて下さい。それらは確実な番組計画を手伝うことができます。方法は下記の通りです。

土地の二人のロータリアンがその月のロータリアン誌月例討論を中心に討議される質問に参加するように依頼されます。彼らが話す予定の前の週に貴クラブ会長は「全会員が手にする唯一の雑誌」の月例討論を読むように全会員に強調すべきであります。この様にすれば、定められた二人が主題について彼ら個人の観点から意見を述べる時には、会員は既に得た興味をもつてその話を聴く事ができ、時間があれば賢実な質問をする準備と心構えが出来ているわけです。

この様に実行すればこの提案は決して無益に終ることはありません！

職業分類の談話、討論会、パネル討論、一般公開討論会或はあなたが頁を開かれる毎月の雑誌に記載されている世界中のロータリー・ニュースを列挙する事等、各方面に亘つて考慮して下さい。あなたの提案をプログラム委員長にまわして下さい！

○幹事報告

○会報到着東京、台南、山形西、石巻東、郡山、新津村上、弘前東R.C

○チャーターナイト

湯河原R.C 3月29日 於湯河原温泉観光会館

小浜R.C 5月19日 於福井県立若狭高校

○例会日例会時間、例会場の変更

山形R.C 2月20日を2月23日午後5時より

遠野R.C 新例会場 遠野駅前（吉野）

○ロータリーの友2月号鉄道不通の為2月末になる予定。

○本日の献立

刺身大魚 焼物鮭、卵

お汁 肉、ねぎ、とうふ